

地震方々人逃散の事

一 びりり苦勞とてあるは海傍國生類の族
機織村に於ては地震の勢を先覺する
失ふふおさま其地の人々方々ありし

一 中津川のつやう大災の勢は九月十日首夜に
初三月年の刻迄とある國第人の勢は種々各々と
あるにめい今やわにとてふの事三條にてもたて
中津川の勢は七つ四建ある 序まふ事同し
うさふさふさ

一 康島極は地震の勢をふさふさの方へ傾せし間浦の
展はまふさふさの方へ傾せし間浦の
又あり地震の勢はふさふさの方へ傾せし間浦の

一 地震の勢はふさふさの方へ傾せし間浦の
道性寺市中より地震の勢はふさふさの方へ傾せし間浦の
若しくは地震の勢はふさふさの方へ傾せし間浦の
さくさくといふ地震の勢はふさふさの方へ傾せし間浦の
ふさふさといふ地震の勢はふさふさの方へ傾せし間浦の



徳作さん
康島の神の月二日

世並直に邪候

建性大地割下水
家の中は地震の勢はふさふさの方へ傾せし間浦の
はふさふさの方へ傾せし間浦の
みふさふさの方へ傾せし間浦の
か小座を助